

内航海運代替建造対策検討会（第3回）議事要旨

1. 日時 平成23年1月28日（金）17:30～19:30

2. 場所 国土交通省8F国際会議室

3. 委員、委員代理、オブザーバー（敬称略）

岩崎貞二、上野孝、池田惣一（梅原委員代理）、大上二三雄、小比加恒久、樫谷隆夫、栗林宏吉、竹内健蔵、古賀直人（田中委員代理）、中谷敏義、斉藤重雄（保坂委員代理）、山本耕三、柳川範之

4. 委員からの主な意見

- ・グループ化が進まないのはなぜか。どうやれば進むのか。政策的なインセンティブなども含め議論する必要。
- ・強い船主を作るために、緩やかなグループ化で本当に対応できるのか。協業化を進める必要があるのではないか。
- ・経常経費を削減できるというグループ化のメリットと、資本コスト負担が問題というオーナーのニーズがあっていないのではないか。
- ・将来輸送量需要が減少していくことを前提におけば、退出すべき事業者が早く退出できるようにし、一杯船主が多数を占める業界構造を変えていかなければならないのではないか。
- ・過去の事業者数等のトレンドを見ると、競争や合理化を経てきた中で現在の業態になっていると言え、この業態は一定の経済合理性があるのではないか。
- ・取りまとめに向けては、政策目的と手段を明確化する必要。また、いつまでに何をどの程度進めるのかといった目標設定が必要。
- ・鉄道やトラックなど、他の輸送機関と競争する部分については、政策的にはイコールフットイングを図っていく必要。

以上